

## 第9回仙北市政策検証市民委員会 会議録

- 日 時 平成24年9月27日(木) 13時30分～14時30分  
■会 場 仙北市役所田沢湖庁舎 第4・5会議室  
■出席者 委員 牧田委員長 大和田副委員長 佐々木委員 堺委員 田口委員 佐藤委員  
草薨委員 橋本委員 西村委員 9名  
市 佐藤総務部次長兼企画政策課長・田中総務部次長兼財政課長・運藤総務課長  
事務局 企画政策課 戸澤参事・大澤政策推進係長 5名  
■欠席委員 藤村委員

### 1. 開会

事務局 お疲れ様です。ただ今から第9回仙北市政策検証市民委員会を開会します。それでは、最初に委員長から挨拶をお願いします。

### 2. 委員長挨拶

牧田委員長 お忙しい中お集まりくださりましてありがとうございます。これまで8回に渡って行なわれてきた検証のうえにたって、いよいよ結果報告書を作成していく段階に入りました。色々と事務局で検討された中身については後刻報告してもらいますが、忌憚のない意見をいただきながら実のある結果報告書の作成に取り掛かりたいと思っていますので。どうかよろしくお願いします。

事務局 案件に入る前に本日の資料の確認をお願いします。  
(資料確認)

### 3. 案件

牧田委員長 今日の案件について事務局から説明をお願いします。

事務局 前回の決定事項の確認をします。(別添資料説明)  
今日は報告書作成に入るための委員会とすることを決めています。当日に報告書作成作業を実施すると記載していますが、事務局の案と堺委員からも案をいただいていますので、そちらを説明しながら、今日この場で報告書を最後まで作り上げるということはなかなか難しいと思いますので、まずはそのたたき台になるものを皆様にご検討いただくことを考えています。また、総括的な事項や他の分野に関する質問等は事前にあらかじめ聞きたいことを事務局までとお願いしていましたが、各委員からはいただいいていませんでしたので資料の準備はしていません。それから、検証委員会としての最終報告は議会の全員協議会の場で、委員長からの報告というかたちになると思いますが、通常の市長に報告書を渡すかたちではなくて、議会の全員協議会の場等を使って報告するかたちにしたらどうかと決まっています。前回検証いただいたアクションプラン31から38までの評点とコメントは記載のとおりです。前回はアクションプランも全部で8項目で時間もかかりまして議事録も今まで最高の38ページとなっており、これも内容を確認いただき、最終的にインターネット上で公開となりますので確認をお願いします。

それでは案件に入りますが、事務局で進めてよろしいでしょうか。

牧田委員長

お願いします。

事務局

報告書の案を今皆様にお配りしました。この案ですが前回委員会の時に事務局案としてたたき台として提示させていただいています。それから大幅には変わっていませんが、前回の議論の中で堺委員から手を挙げていただき、内容的に堺委員が考えていただけということもあり内容を追加しています。表紙の次ページは仙北市政策検証について、今回の検証に至る背景、なぜこのようなことが必要になったのかということ、検証の方法として自己評価・外部評価・市民評価の3段階の評価を実施したということ、市民委員会の評価基準についても記載しています。次ページはこれまでの経緯として、今年4月の市による自己評価から始まり、5月15日に第1回政策検証市民委員会に開催し前回の8月31日に第8回を迎えている、そして本日の第9回委員会ということで最終報告書の作成作業となっています。また、もう1回委員会が必要だろうということで第10回まで進むのではないかと想定しているところです。次ページはアクションプラン検証一覧でA3の大きい資料になります。右側に自己評価と外部評価、そして市民評価を追加して3つを並べた点数をわかるようなかたちで入れています。次ページは政策検証の総括ということでこれは堺委員に作っていただいた内容です。事務局も今初めて見ますので読み上げて説明に変えます。

「私達、仙北市政策検証委員会は、平成24年5月15日に第1回委員会開催以来、9回の委員会を開催し、延40時間に渡る真剣な検証を行いました。

当初の委員会では、市長の公約を検証するのか、市の政策を検証するのかの議論が行われ、市当局の見解を求めました。その結果、門脇市長のマニフェストは、市が政策として実施することに決定しているのので、仙北市政策検証の平成22・23年分の事業実績の検証を行うこととなりました。

具体的検証作業には困難な事がいくつかありました。検証項目が市政全般の中に散りばめられており、全体像が理解できないと検証が困難であることでした。最初の項目を検証するだけで2時間以上もかかったために、40項目を検証するための時間を想像すると、仕事を持ちながらの検証は不可能に近いと感じました。更に、各項目に関する資料的的確な（質・量）提供が行われず、事前配布の約束も守られませんでした。その為、実質資料なしの状態での検証を強いられました。そのため委員会としては、各項目事に専門知識を有する委員の質問を重視しながら検証を行いました。結局、9回の委員会を開催し、述べ40時間の委員会開催で、各委員の方々には本当にご難儀をお掛け致しましたが、本日ここに検証結果を公表するに至りました。

政策検証の総括としては、事前に行われてきた部内での自己評価・秋田経済研究所による外部評価よりも相当厳しい結果となりました。その理由として、仙北市政策検証の完成度が低く、実現性及び実効性に矛盾を抱えているものが多々あることが挙げられます。

例えば、「医療を再生し福祉を充実します」の中にある「角館病院の改築・新医療機器事業」「田沢湖病院救急医療再開事業」の問題では、仙北市の人口が10年後には25,000人近くまで減少することが懸念されているにもかかわらず、医療施設の一元化や実現不可能な項目を無視し、多額な借金（角館病院の改築約40億）を行なっていくシステムは理解できません。市民が安心できる、仙北市の総合医療政策を策定してから個々の事業に取り組むべきではないかとの指摘がありました。

「徹底的な行財政改革を行います」の中の「市役所建設の凍結・再検討」の項目では、角館庁舎の改築が近々実施の検討を行なっているそうですが、これも市庁舎建設総合計画の策定が先決だと思います。分庁舎方式か支所方式を決定した上での、角館庁舎の改築が当然だと理解いたします。

更に「4年間で所得10%以上増やします」項目の中にある「総合産業研究所」は、所得を増やすための玉手箱とまで言われた組織の新設でしたが、見事に期待を裏切っていました。表面的に羅列した事業の数々は、とても事業評価として満足の得られるものではあ

りません。特に発足に当たり、鳴り物入りで誕生した所長・事務局長が2年契約であったものが契約半ば（1年あまり）で事業を去っていったことは誠に残念でたまりません。

その他種々の事業に関する評価は本文内に記述してありますのでここでは触れませんが、最後に感想として、市長が進めてきた仙北市アクションプランに過ちの項目や不必要な項目はありませんでした。しかしながら平成22・23年度の事業実績は、はかばかしいものではありません。その理由を推定すると、アクションプランを計画した市長と、実施する部隊としての市職員との間に意思疎通の不足さを感じます。担当各課の職員との質疑を通じて、もっと実行するための各部署との話し合いの強化の必要性を痛感しました。特に市長が積極的に進めている対話集会で、要望された各種の意見に対し、やれる事・やれない事の取舍選択をはっきり言う事が必要であると感じます。それらの事項を整理することにより、実施計画がアクションプランから離れても、より良き結果となれば、住民の理解も得られると思います。

住民より圧倒的支持を得て当選された門脇市長には、今回指摘された政策評価を参考にし、今後共より良い市政を、住民のために実現していただくことを心より祈願いたしました。政策検証の総括といたします。」

このような内容となっています。堺委員大変ありがとうございました。その次の分野別総括ということで政策が1から8までありますので、それぞれの総括を短めにと考えています。次のページからはそれぞれのアクションプランの検証結果一覧になります。各プランの評点と主なコメントを掲載しており、最終的に38番まで続くこととなります。アクションプランの39と40については、以前も話したとおり、この委員会がマニフェストの検証委員会ではないという整理をされたことから該当しないだろうということでしたので、それについての検証は行わないということで省いています。次のページは、各委員からの感想なりを報告書に書いたほうがいいのかといった意見がありまして、まずは最初に委員長からの見解として総括的なことを書いてもらうということ、続いて大和田副委員長と各委員からは、委員自身が選んだ3から4項目のアクションプランに関する見解と委員会の感想を400字から600字程度の分量で書いていただき報告書の中に盛り込むかたちでどうかという提案です。それぞれの委員の感想を今ここで書いていただきたいということではなくて、何日かの間に書いていただき出来たら事務局に連絡をいただき、それを事務局で最終的にまとめ上げ、出来た段階で事前に報告書案を各委員にお配りして、調整が出来た段階でもう1度お集まりいただき最終的な確認を皆でしたいと考えているところです。報告書の最後は名簿を掲載しています。報告書としてはこのようなかたちでいかがでしょうかという提案です。あとは色々ご協議いただきたいと思います。

牧田委員長 総括文については出て来たのでそれについて論議してもらいますが、その前に事務局から説明があったこれからの行程の中で、各委員に文書を作ってもらい提出してもらって報告書に付け加えていくことに関しては皆さんから意見はありますか。

西村委員 賛成です。  
(他にも賛成の声あり)

牧田委員長 よろしいですね。それではそれはそれとして確認しましょう。次に、頑張っ作ってもらった総括文に対しての質疑に入ります。

堺委員 説明させていただきます。今までは人を批判する立場だったのだが今度は総括してただけなことなので、遠慮なくどンドンしゃべっていただきたいと思いますが、普段言っている言葉よりもだいぶ甘くなっています。いざ文書で最後まで残るとなると少し遠慮気味に書いている感じがあるので、そこらへんのことも含めてほしいこんな感じかなということで昨日徹夜仕事で仕上げたことなので、あまり文書の中身としてはそんなに良くないと思いますのでおもいきって直してもらって修正してもらっても結構だと思います。私の基本的な考え方は、事務局の大澤さんと打合せした時に、どうかたちで結果をやるかということに対して、委員の意見をどうかたちで反映させるかということ全体像の中でどう反映していくかということについて色々話した結果、先程了承していた

だいた各委員の見解等を是非入れていただきたいということを要望しました。その中で自分が印象に残っているものを遠慮なく書いていただければ本当に良い報告書になるのではないかとことだし、自分達が関与したということに対して誇りを持って新しい市政に対して皆さん方が新しい気持ちで向き合うことが出来るのではないかと、私達はこれで第1回目の検証はほぼ終わる訳なのですが、今後とも市政は続けていくので、これだけの情報量を持った人間が付近の方々に対してどうかたちで市政に対してのことを皆さん方にお話ししていただけるのかというのがこれからの最大の課題になっていくのだろうということで、私も色々な方々と話すのだが市政の中身のことについて知っている人はほとんどいないです。私達がこれだけ知った以上は私達の責務としてそういうことをやるためにも是非報告書の中に入れて、一応400字から600字と書いていますが5,000字でも構いませんので、そこらへんは好きなように書いてもらって結構だということで、とりえず400字から600字ぐらいだったらあまり負担にならないのではないかと考えたので、これを上回るものを書きたい人が入れば自由に書いてもらって結構ですが、私と同じようにいざ文書を書くとなるとあまり乱暴なことは書かれないということがあるので、そこらへんを配慮していただいて上手く書いていただきたいと思います。政策検証については異論があるかもしれませんが色々お話しをうかがいたいと思います。

牧田委員長

ありがとうございます。それを念頭に置きながらそれぞれこの文書、それから付け加えたらどうかというようなことも含めて意見をいただけますか。中盤からある角館病院それから市役所建設の項目が1つの例ですね、これはこのまま載せても良いかどうかをまず具体的に。

西村委員

堺委員ありがとうございました。良くまとまっているなと感心しました。今委員長が言ったように病院や市役所建設のことを具体的に例を挙げて言ったほうが良いです。考え方としては、もう少し考えるべきではなかったかと言ったって市は気が付かないから、やっていることは気が付いているとは思いますが、行政というのは手順を踏んだのだから何も文句はないだろうという答弁をみんなするんです。委員会や諮問委員会にかけたとか、土地のことも自分1人で決めたのではないと市長が言ったりする訳です。だが実際はその前の段階でこういうことを考えて諮問したのですかということになると、だから具体的にこうして指摘してあげたほうが、別にバカにしているとか低く見ている訳ではないが、そうしないと気が付かないことが、毎日それをやっているのだから本当はプロのはずなのだが、最後の逃げ道というかそういうことをやれば良いと思っているきらいがよくある。仙北市はないかもしれないが、そういうことなので具体的に書いてあるこの総括は本当に丁寧にわかりやすくやっているから良いと思います。あとは先程言ったようにそれぞれの委員がこれまで委員会をやって来ている訳だから、それぞれ得意分野と不得意分野もあるかもしれませんが最後にコメントで好きなことを書く、なかなか難しいとは言いましたがそれをキッチリとやってそれがただの評点だけでなく、それぞれの委員がどういう考え方を持っているかということ、上手く表現出来るか出来ないか厳しく言うか柔らかく言うかはまた別として、それは是非全職員が目を通してもらいたい、おかと違いで余計なお世話と言われる文書かもしれないしそれはそれで笑われても仕方がないが、一生懸命書いて後ろに添付してやる報告書で良いと思います。総括はこれですごいと思っていました。

堺委員

今言われたとおり、1番予算規模の大きい2つを取りだしている。今回のマニフェストの中にはあいさつ運動とか3万円から5万円で済むものから100億円近いお金まで様々な事業が入っている訳です。それと同列に扱われた話し合いが今回の話し合いの中にあつたということなので、非常に重要なことと100万円以下のどうでもいいような、どうでもいいといえば悪いのだが、そういうかたちのものが結構いっぱいあつたということ、それから総合産業研究所というのは市長が今回あみ出した新政策の最大の目玉商品の1つとしての一例としてあげたものなので、代表的な例をとってやったということで、最後に市長に甘い発言で締めてしまったのでこの程度で本人が気が付かないかもしれないが、もっと厳しい言葉で言ったほうがいいのかもしいかなもしれないけれども。

- 佐々木委員 私からプラスしてもらいたいものがあります。バイオマス施設の件も入れてもらいたい。大きい課題だったと思います。
- 堺委員 それも一応考えたのだが、事業を実施したのは石黒市長の時だった。後始末係が門脇市長ということなので。
- 佐々木委員 22・23年度も事業としてやっているのだから付け加えてもらいたい。
- 西村委員 引き継ぎを受けた時に前のことは全部引き継ぎを受けているはずである。
- 堺委員 わかりました。
- 佐々木委員 門脇市長のマニフェストの検証であれば今堺委員が言うとおりで、実際は市政の検証だからこれも入れるべきだと思います。
- 佐藤委員 言われないと気付かなかったところが、実際に金額の大きいものを2つ取り上げてくれているところが具体的に一文入れると読む人もピンとくる、なぜこの2つなのか、大きい事案だというのはわかるのですが、金額的にも市政の中でも1番2番に大きいよというのが入っているとより伝わるのではないかという感じです。非常に素晴らしい内容だと思います。
- 田口委員 先程、堺委員から門脇市長に対して最後は甘くなつたのではないかとのお話がありましたが、最後のところで市長のアクションプランに対しては過ちの項目や不必要な項目はありませんでしたということですが、ここが本当にどうなのかというのがある、だから市長のプランとしては良かったが実施のほうはダメだったという大きな整理になっているのですが、だが、本当にその計画を立てた時点のプランというものが十分精査されたものであったか、例えば大きな項目とした所得向上10%というものがそもそも根拠があるものだったのかという疑問もある訳です。そういう意味では実施のほうはダメでプランが良かったとは必ずしも言えない部分も、まだ出来ていない部分もあるのではないかと思ったので、このように書ききってしまうと書き過ぎかなという気は少ししました。
- 大和田副委員長 細かい点では総合産業研究所の所長と事務局長となっていました、事務局長は市職員でしたので、今野さんは事務局長ではなかったです。検証委員会というのは仙北市始まって以来ではないですか、政策検証委員会、こういうことをやられたのは初めてですよ。こういう場を設けたということはちゃんと評価して、評価する一文を最初か最後に入れたほうが良いかと、こういう場も市長も市職員もそして市民も一緒になって本気になってこのような場を持つということは1つの前進ではないかということを一歩どこかに加えていただければ良いなと思いました。
- 橋本委員 よくまとめたものだと感心しています。私も報酬について少し言い過ぎたこともあるが、やはり多額な報酬をいただいても結果があまり出て来ないというのは選考の結果もあるし、中途半端で投げ出したというのもよろしくないと思います。まとめとしては良いと思います。あとは皆さんの意見を付け加えれば良いのではないですか、
- 堺委員 最初は1ページしかスペースがなかったのだから収めるために削りまくってこのようになつたので、2ページでも良いということになればゆっくり書ける。
- 牧田委員長 委員長発言で聞いてください。この総括は良くまとまっているという感想です。私も言いたかった1つに、残りの1年ちょっとの間に、検証してみると実現不可能なこと、それから何とか方向に向かって動き出したもの、結構動いているものと様々あるのですが、やはり各セクションというか各担当課で今の時点で総括してこれはもっと力を入れてやろうと、それでは動かなかつたものは何なのか、やるために何とするかという方向付けとい

うものをもう少し意識的にやらないと1年ちょっとはあつという間に過ぎてしまうのではないかと思っています。また、先程田口委員が言われた、実は色々な市民の意見を私は聞いています。その中で市長の考えと市職員の乖離の問題、実際に別のほうから力を合わせてこれをやろうとした時に、それが途中で止まったのか、市長のところに行ったが市長の意向で止まったのかという、抱き返りの観光関係のことがあったのですが、そういうこともあって自分達は問題提起してももう聞いてもらえないんだという話しもあったんです。県の予算に関わることでした。だからそれを実現可能なのにも関わらず、どこかでストップしてしまったと、結局はそっちのほうでやっちゃったということもあったりして一体これは何なのかと、そのようないくつかがことがあるのが、先程田口委員が言われていた何でそうなっているのか、実現不可能なことをやるから合わないのか、それとも色々なしがらみがあって協力したくないのか、ここで言われている一緒になって市長と職員と市民が一緒になって物事を具体的に展開していくということがもっと本気で取り組まれないと、このアクションプランの実現というか前進というか次の世代に繋がっていくものは出来ないだろうかと、それは検証する流れの中で強く感じましたので、引き続き職員の皆さん、だから気にいるとか気にいらぬとか何かのしがらみとかというものにこだわらないような、本当に市政を前進させるというために力を合わせていくということでやっていただきたい、必要であれば市民の中でもどんどん問題提起もしてもらいながら進めていきたいという感想でした。

#### 草薨委員

私達がいかにこのように苦勞して検証をし結果をまとめてやって最終的には議会にどのように、最終決定は議会ですよ結局、何をやるにも議会が決定しないと出来ないでしょう、そのあたり議会のほうがどのような話しの内容でいるのか、話しよりも我々の評価したものをどう見るか、議会も傍聴してみるとそのあたりがクエスチョンマークを付けたくなるような、やはり議会がもっとしっかりして、ましてや全て市長1人でやるものでもないし職員1人でやるものでもないし最終的にほとんど議会を通らなければ出来ないものですから、議会がもう少しそのあたりできちんとしたかたちの中で自分達の方向性を持って仙北というものをどうするんだという考えのもとにやっていくもう既に時期どころか、失しているかもしれない、合併6年だから、もう既に脱皮するところは脱皮して仙北市というものに生まれ変わっていく時期だと思えます。議員さん方に、私に言わせると我々が今検証委員会で勉強した以上に勉強していただかなければいけないのではないかと思います。

#### 堺委員

24年度になって事業が出来ないのは私が忙しすぎて副市長がいないせいだということ考えた人がいて、副市長の専任をってしまった訳なのですが、その方が派手に色々なことに動いてくださってパイプ役になってくださればいいのだが、まだ若葉マークなのでその機能が全然発揮されていないというのが平成24年度になってからの素直な感想です。門脇市長ははっきり言って誤解している。要するに自分が忙しくて見とどり出来ないから政策が上手く出来ないと思っているかもしれないが、実はそうではなくて市職員との間でねじれている状態と、まだいまだに色々な人から意見を聞く会を次々に作って色々なことに「はいわかりました」と言ってやらないということで批判の固まりになってしまって非常に悪循環に現在陥っているというのが素直なところで、今年度になっても色々なものがある、この委員会もただその中の1つであると本人が考えている可能性が非常に大きいです。これ以外に他の審議会がいくらありますか。ただ要するに報告書をもらって中身を見たのか見ないのかわからないが、そういうかたちで留め置くからまた話しが我々のようなところからつつかれてしまうことだから。

#### 牧田委員長

この検証委員会が他の委員会があまたある中の1つで、あまり見てももらえないようだったらあまり意見を言っても仕方がない話しなのだが、そのへんの位置付けはどのように考えているのか、こうしてせつかく40時間近くかけて出て来て、どうしても市長と役所との関係でここに書いてあることなんですよ。

#### 堺委員

その証拠に副市長が1回来て慣らし運転しただけであとは来ない。顔見世興行だったよ

うな感じがする。

牧田委員長 出して提案して市長も見る、どう具体的に動いていくかということになると。

佐々木委員 本当にそうなるかはわかりませんが議会の全員協議会で報告するという、いまだかつて他の審議会ではない訳です。これは初めてのケースだからこれでどの程度の、例えば以前の防災の関係の地域審議会も手渡しして終わっています。そうすれば写真をとって広報に載せてたぶん終わりになる。これは全員協議会にかけるのだから議員も全部見ている中のものだから他の審議会とは若干違うと思います。違ってもらわないと意味がないです。

草薨委員 色々なところでやっているということを知っているから市民はかなり期待はしているようだ。

佐々木委員 職員も大変だと思う。市長の頭の中にあることを具体的にこうだというように言わないものだから実際は大変な訳です。ドラエモンみたいなものです。

牧田委員長 今出た意見でだいたい基本的には網羅されていると思うので、先程不安に出たのが、この委員会が全員協議会の中で発言できるということなので、そのへんでこの役割がちょっとは違ってくるのかなと思うのですが、それで付け加えたり何かするということではどうですか。

佐々木委員 堺委員のイメージだとすれば予算の大きいものは確かにこのとおりですが、ソフト面の市民とのコミュニケーションの部分がないです。小さいものだが例えば地域サポートセンターの絡みとか色々な問題もあり、実際それで逆行しているんです。職員の減少をするための逆のことをやっていることもあるし、コミュニケーション的に小さいものでも何か入れてもらえれば良いという感じはする。

堺委員 そこらへんのところを全部書いてしまえばみんなが書くところがないだろうと思って遠慮している訳なので。

牧田委員長 それは佐々木委員自分の感想欄をお願いします。コミュニケーションの問題もここにも触れられているから。

佐々木委員 総括して主なものだけということですね。

牧田委員長 それではそういうことで、基本はこれにして1つバイオマスの件を付け加えて触れてもらうということは皆さん一致できますか。  
(一同了解)

堺委員 バイオマスに関しては情報の公開が市民に対して非常に遅れているということで、こういうことで市が困っているということをはっきりとみんなに教えるという作業もしながら事業を進めていかないからこういうことになるんだ、という感じで書けばいいですね。

西村委員 バイオマス発電も先んじてやったことを他の市町村が今一生懸命やろうとしている。また失敗する、どこかのプラント会社に儲けられて終わり、気を付けなさいということをごくかで言って来ました。

牧田委員長 それではそういうことで難儀かけますがもう一筆付け加えてお願い出来ますか。よろしくお願いします。あとはよろしいですか。

西村委員 問題は日程的なことで、全員協議会までにそれぞれ自分の感想を書いていつ頃までに出して、いつ頃までまとめて、いつごろの全員協議会になるのか。来年の全員協議会ではな

いだろう。スケジュール的なことを言ってもらえれば。

事務局 全員協議会の予定は今のところまだ立っていないと思いますので、どれぐらいの期間があれば、感想の作文は、かたちはどうでもいいので連絡をいただければもらいにいきます。

西村委員 とりあえずそれぞれみんな作文して、それを事務局でまとめて見やすくして、それでまた集まって協議してこれで良しとしてから全員協議会が開かれる時期に合わせてどのようにしていくか、委員長1人でいくかは別にして、そのような段取りでしょう。

事務局 かたちとしては最初に市長に結果報告書をいただくかたちにして、それから全員協議会の場をお借りしてそこでも内容を説明するというかたちになると思います。政策検証委員会対議会ということではないと思いますので、まずは市長に出してもらって、全員協議会の場を使って説明するというかたちとすることで理解をさせてもらいたいのですが。よろしいですか。

西村委員 いきなり市長も参列した全員協議会の中でこれが初めて印刷物が全員協議会の場に出ているのではなく、その前に答申として報告書として市長に先に見てもらおうということ。

橋本委員 全員協議会は議長が招集するのか市長が招集するのか。

佐藤企画政策課長 そのあたりは少し整理しなければいけません。というのは皆さんが委嘱されたのは市長から委嘱されているので、そのあたりは議会と協議します。その返事は必ず差し上げますが、今事務局で説明したとおり、まずは市長に報告して、その後希望としては全員協議会まで持っていきたいということ添えと、それに対して議会ではどうなのかということ私の方で議会と相談してから皆さんに報告するかたちにさせていただきます。

堺委員 議会からは俺達が主権だからあなた方はいらないとされる可能性はある。あなた方は関係ないよと。

西村委員 それはある。少し乱暴な人はやかましいと、市長に報告書を出せばいいのであって、あだこうだと言うより自分達が言うことだからと言われてしまえば、全員協議会で発表する場所をくださいと言っても必要ないと言われる可能性はある。そう言われた時は別の対応も考えましょう。

牧田委員長 そうするとそれは市長に報告して、次の会で決まったことを報告する。

佐藤企画政策課長 そのへんは委員会の希望があるということなので、相談してから早めに返事差し上げたいと思います。いずれこういう状況だったということに対して皆さんから色々な話が出るかと思っています。

堺委員 全員協議会という形式が堅苦しすぎるのだとすれば、懇談会みたいなかたちとかそのようなかたちでも結構だということなので。

佐藤企画政策課長 そうですね、要するに議員と話しをする機会を設けてほしいということが、最初はみなさん全員協議会との話しでしたので、だったらこういう方法は何かありますかというような言い方のほうが良いのかなと思います。  
(一同了解)

堺委員 議員との懇談会は通りやすい。

西村委員 市長にもちゃんとした報告書を出したけれども、議会にも聞かせたいからまず出てこいという話しに聞こえるかもしれない。しょっちゅう何でもかんでも全員協議会を我々に言



われたから集めるようなものではない。そんな軽いものではない。

牧田委員長 どうでしょうか皆さん2週間ぐらいで出来上がりますかね。

堺委員 来週中に皆さんが原稿を書いていただければすぐ出来上がる。

事務局 例えば10日締め切りにはいかがですか。それからすぐまとめて、まとめ上がったら一旦皆さんに出来たものを事前配布します。そして、15日か22日の週のうちに最後の委員会で確認作業をして、最後はパソコンとプロジェクターを使ってスクリーンに字を映して一字一句修正しながらやりたいと思います。報告書の検証をしていただきます。例えば22日あたりはいかがでしょか。  
(一同了解)

牧田委員長 それでいきましょう。

西村委員 そうすれば10日をメドにすれば事務局がまとめるのに1週間あるから何とか頑張っていたらいい。

事務局 10日までいただいて22日の委員会の前に皆さんに報告書のかたちをお渡ししますので、それを見ていただいて22日に最後として決めるというかたち、もう1つお願いですが、22日までに1回から9回までの議事録公開の関係で内容的によろしいかどうかをもう一度見ていただきたいです。変えることも良いです。お手数ですがお願いします。

牧田委員長 それでは各委員の感想を10日まで600字程度で提出すること、それから次の委員会が22日ということ。

事務局 10日までの原稿はどういうかたちでも良いですのでデータでも紙でもご一報いただければ対応します。

佐藤企画政策課長 先程の全員協議会の話しは委員長にいち早く報告するかたちでよろしいですか。議会と相談して何か上手い方法はないかということも相談して報告したいと思います。

牧田委員長 そうですね。よろしくをお願いします。

西村委員 それでは確認ですが、10日までにまず原稿を出す、22日までに事務局がまとめて22日それをもう1回みんなで見ながらそれぞれの原稿もチェックしながらその検証もしながら報告書をまとめ上げてもらう、全員協議会のことは今佐藤課長が言ったようなことで交渉してもらって、出来れば市長に先に報告して、その後出来れば議員の方々にもその場でこういうことをやったということ、市長にも提出しているのだけれども我々の検証委員会ではこういう意見も出ましたので是非議会にも我々の意見も片隅に置いて何とか市政運営を頼みますというような話しですよ。

堺委員 いずれにせよ今までのシステムの中で様々な場所でチェックを受けて来た、最後は監査まで受けて通って来た政策について改めて我々が検証したという格好になっている、だからわざわざここまでしなければいけない状況というのは何だったのかということが、今まで要するに内部検査も各課でやって監査もやって議員のチェックも受けて監査委員のチェックも受けて決算認定された項目だけなんです、それが改めて民間の人を集めてまで再検証しなければいけない市政というのは何だったのかという非常に不思議に思うというか、そこまで信頼感のない市政だったのかなという感じがします。

大和田副委員長 私は逆に感じていました。順番はそうなってしまっていたかもしれませんが、あえて市民と一緒にというところを赤裸々にオープンにして検証したいというように、その点は

私は評価したいと思います。

牧田委員長 今まで逆になかったほうが不思議ではないですか。

田口委員 しかし、正確に言うと元々これはマニフェスト検証委員会というのがあって、その背景があってこれだから、政策を検証してもらおうとの意図でやっていた訳ではなくて、マニフェストの中でこの検証をしますよとうたわれていて、その実施だったはずのものが政策検証になったという背景はあるので。

牧田委員長 背景はあるにしたって、かたちはどうであれそれは市民の目でこうして評価するような場が出来たということは良いことです。

田口委員 結果的には良かったとは思いますが、そこを狙ってやったというよりはそうではない背景があったということもあると思います。

牧田委員長 そこになるとまた原点に戻ってしまうので。

田口委員 この委員会の中できちんと整理したから良いです。

堺委員 普通にやっていたらまた門脇病の1つの組織で終わったと思う。民間から声を聞きましたという言い訳に使われていた。そういう委員会はいっぱいある。過去に門脇市長になってから何回このような会があったのか、私も相当出ているからあれなのだが。本当に良くここまで来て良かったと思うが、そうでなければ普通の民間の諮問機関と同じで報告書を受け取って、その後何も音沙汰もないというかたちで終わっていた。

牧田委員長 今回は2年間の検証だったが、4年間終わった時点で計画はあるのですか。新しいメンバーで次の市政を展開していく、誰が市長になろうとも、それをしっかり総括して。

田口委員 我々の任期は26年までの2年間です。

事務局 そのとおり2年間になります。

牧田委員長 それを確認したのでよろしいですね。その他何かありますか。

事務局 一つお詫びということで、皆さんの報酬を1回もお支払いしておりませんでしたので大変申し訳ありません。次回の委員会が終わった際にまとめてお支払いしますのでよろしくご了承をお願いします。

西村委員 まだ最終局面でこれでしょんしょんと最後の幕引きが終わった訳ではないが、せっかくの機会だから報酬をもらったら懇親会をやりませんか。

(一同賛同)

いずれこの先報告書が出来上がって良かったなということで、これまでさんざんガンガンやったのだが、せっかくこれだけ長い間顔を突き合わせて心を開いて色々話しあったし、事務局も参加してやったらどうかと思います。

牧田委員長 その点はよろしいですね。それでは確認したことを大変ですが10日までに文書を作ってください、引き続き頑張ってください。

#### 4. 閉会

牧田委員長 それでは第9回政策検証市民委員会を閉会します。今日は本当にありがとうございました。  
終了14:30